



全国保健師長会 ニュース

令和5年10月理事会議
発行 No.2

令和5年度 第2回理事会

令和5年10月14日（土）に、第2回理事会をAP東京八重洲会場およびZoomでのハイブリッド会議で開催いたしました。

1 開会 松本会長あいさつ

秋も深まって参りました。皆様におかれましては、ご多用のところ、理事会にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

2023年9月22日に「市町村における精神保健に係る相談支援体制整備の推進に関する検討チーム報告書」が発出されました。本委員会には全国保健師長会からも委員を出しておりますが、その中では、保健師等の確保や相談支援部門への配置を進めるなど保健の軸を作ることが必要であるとされました。また、人材育成については、研修受講はもちろんのこと、組織として技術の継承も含めた計画的な育成や複数配置等の工夫、庁内で推進力を発揮する専門職には戦略的かつ計画的な人事異動等による育成が重要であり、保健所や精神保健福祉センターからのバックアップを受けることなどが明記されています。

加えて、市町村では2024年4月からのこども家庭センターの設置に向けた準備が成されているところであり、これらの主旨を踏まえて、保健師の配置や増員に向けて、組織内への働きかけを進めていただくとともに、都道府県におかれましては、市町村に対して、十分に解釈を加えてご説明を尽くされ、推進していただきますよう、よろしくお願いいたします。

近年、このような動向からも分かりますとおり、保健師には、個別支援の充実、ハイリスクアプローチにその能力が求められているように感じるところです。行政保健師としては、本来の機能である地域ケアシステムの構築やソーシャルキャピタルの醸成などの地区活動が保健師としての醍醐味であることを忘れてはならないと思います。

改めて、保健師とは何か、保健師でなければならないことは何なのかを各自が意識するとともに、社会に向けて発信していくことが大切です。

一方、本日お集まりの理事の皆様・支部長の皆様にも、ご協力いただいておりますが「保健師の未来を拓くプロジェクト」の一環として、保健師の価値観やコンピテンシー（態度・能力・行動特性）を保健師自らの力で明確化しようとする動きがあります。

正しく、今、これをやらなければならないという認識を強く持っており、その一端を全国保健師長会として担えることを嬉しく思っております。

本日は、代議員総会に向けた重要な議題がございますので、皆様、忌憚りの無いご議論の程、よろしくお願いいたします。



2. 議事

(1) 第45回代議員総会議案について

総会議案の準備にあたり、最初に理事の皆様へ下記の3点について、審議しました。

① 「統括保健師間のネットワーク推進特別委員会」(仮称)の設置について

主旨：「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」改正で、統括保健師の配置に関することが明記されたことを受けて、継続的で実効性のある統括保健師のネットワークづくりを進めたい。そこで、委員会を立ち上げて、継続的な仕組みとなるように統括保健師間のネットワークの在り方(仕組み、意見交換のツール・機会、そこから得られる成果など)について検討していく委員会とするもの。

⇒過半数以上の賛同者を得て、承認されました。

② 「オンライン会議」に関する内規改正(案)について

主旨：令和2年10月の理事会で、新型コロナウイルス感染症への対策の一つとして、「オンライン会議」を位置づけ、内規の改正を実施。その後、オンラインの活用が日常的となり、通信環境や通信機器等も整備されてきたことから単価を減額する内規の改正を行うもの。

⇒過半数以上の賛同者を得て、承認されました。

③ 「宿泊費」に関する内規改正(案)について

主旨：宿泊費の実質的高騰により宿泊費の単価(甲地、乙地)を改定するもの。

⇒過半数以上の賛同者を得て、承認されました。

今後、代議員総会の資料にこれらを含んだ内容の議案書等を作成し送付する予定です。

また、第1号議案から第8号議案について、内容説明があるとともに記載事項に間違いがないかなどの確認を行いました。

(2) 第45回全国保健師長会総会の送付資料について

代議員に送付する書類と会員に送付する書類について、内容の確認を行いました。

総会について、長野県の小林理事から日程等説明がありました。

<日時> 11月18日(土) 受付 午前8時45分～ 開会 9時15分 閉会 午後3時10分

<テーマ> DXで保健師活動はどう変わる?～今保健師が取り組むべきこと～

基調講演：慶應義塾大学 看護医療学部 教授 田口敦子氏

前日の17時からリハーサルを予定しており、こちらは見学OKとのことです。

(3) 保健師の未来を拓くプロジェクト経過報告について

この組織は、全国保健師長会、全国保健師教育機関協議会、日本公衆衛生看護学会の3団体を中心にプロジェクトメンバーを募り、保健師の公衆衛生看護活動の基盤となるグローバルスタンダードを作成することを目指すものです。

これまで、学習会やワーキング等会議を重ねており、今後も月1回の会議を予定しています。

会議では、コアバリュー(中核となる価値観)、コアコンピテンシーについて、概念や定義を検討、整理し調査票を作成しています。

デルファイ調査を実施していて、第1回目の調査が終了したところです。対象となっていていただいている会員の皆様、引き続きご協力をお願いします。

(4) 「健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術の明確化に関する研究」調査について
 こちらの調査についても統括保健師の皆様にご協力をお願いします。

都道府県部会富岡理事から「地域保健対策の推進事業の調査活動」に取り組んでおり、10月から調査を開始しました。都道府県、市町村（滋賀県、愛知県、広島県、和歌山県、山梨県、神奈川県、仙台市、北海道）に依頼しており、引き受けてくださったことに謝意の言葉がありました。

(5) その他

災害時保健活動特別委員会草野理事から報告がありました。災害時の保健活動推進マニュアルの執筆者の一人である中臣昌広先生が「オフィス環監未来塾」をされています。そこでは、自治体職員等を対象に災害時の衛生対策に必要な知識、スキルなどを伝授しているそうです。今回、松本会長を通じて保健師にも情報提供ができるようにしていただきました。

全国保健師長会HPの災害関係のところリンクを貼って、「オフィス環監未来塾」へ飛べるようにしますので、ぜひ会員の皆様にご覧いただきたいと思います。

松本会長から尾身茂会長が執筆された「1100日間の葛藤 新型コロナ・パンデミック、専門家たちの記録」の本を尾身先生から全国保健師長会に献本いただいたとの報告がありました。

皆さん、ぜひ読みましょう。

統括保健師の皆様
 10月は調査関係が多いですが、
 ぜひご協力をお願いします。



<今後の会議予定>

第3回理事会	令和5年11月11日(土) 13:00~15:00	場所: オンライン
代議員総会	令和5年11月18日(土) 09:15~15:10	場所: ホテル国際 21
国家要望に関する委員会	令和5年12月9日(土) 13:00~15:00	場所: 未定
常任理事会	令和6年2月3日(土) 13:00~15:00	場所: 未定



(作成: 広報委員会)

公衆衛生看護活動に有益な **最新** 情報を配信中! 全国保健師長会ホームページ <http://www.nacphn.jp/index.html>
 全国保健師長会のホームページに「こんな活動をしています」の欄に最新の情報が載りますので、ぜひご覧ください。